

## ういる

## 令和7年度事業報告書

## 1. 令和7年度の概況

令和7年8月1日より事業開始し、当初の計画通りに利用者が確保できず月平均の稼働率も31.3%で低迷し収益黒字化せずに経過。12月に実施された新潟市の新規事業所訪問調査においても、不備があり減算指導を受けるなど管理体制の脆弱性があり、2月には収益構造最適化をねらいに定員を7名から5名に変更した。病院や重心施設などへの営業やSNSを通じた広報活動を重ねることで、稼働率と事業収入が増加し、少しずつ運営基盤が固まってきた。体調悪化に伴う当日キャンセルの場合も少なくない施設だが、待機利用者を増やし家族のニーズにも応えていかなければならない。未だ山積している課題に向けて、内部体制強化と経営安定化を図り、社会的使命を果たしていく。

## 2. 職員の配置状況

(当該年度 3月31日現在)

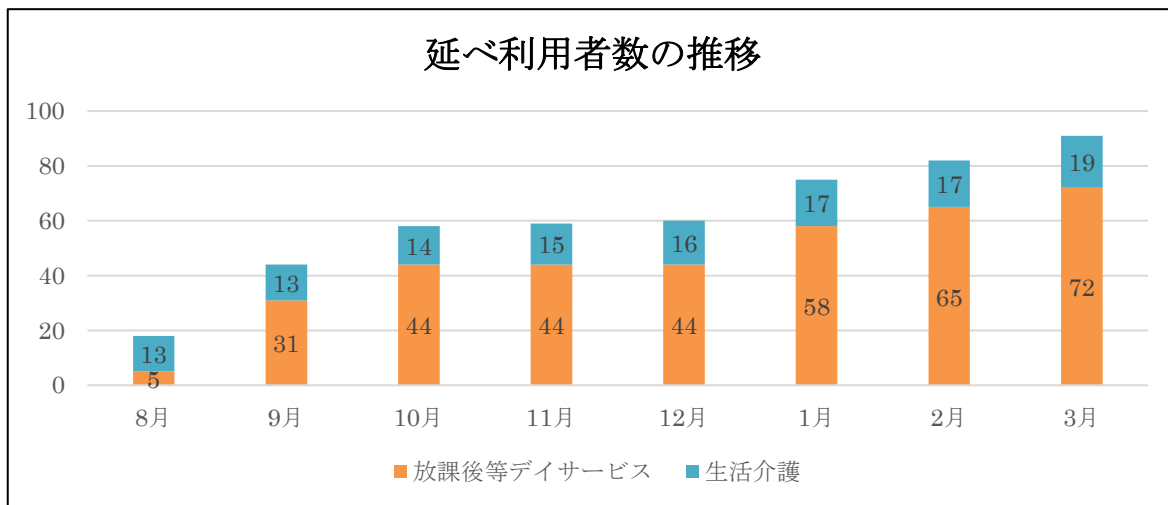
職名 区分	管理者	児童発達支援管理責任者	サービス管理責任者	看護師	機能訓練担当職員	児童指導員 又は保育士	生活支援員	医師	運転職員	合計
基準定数 ・・・①	1	1	1	2	1	2	1	1		10
正規職員の配置 ・・・②	1	1	1	1		1	1			6
正規職員以外の配置 ・・・③				2	3	1		1	2	9
現員計 ②+③=④	1	1	1	3	3	2	1	1	2	15

※ 基準定数は、放課後等デイサービスと生活介護を合わせた人員に関する基準に基づき算定される員数を記入。放課後等デイサービスと生活介護を兼務可能な職員は兼務。

### 3. 利用者の状況

(当該年度 3月31日現在)

#### (1) 利用実績



#### (2) 利用者の病状内訳

- ・脳性麻痺 5名
- ・染色体異常 6名
- ・滑脳症 1名
- ・脳出血後遺症 1名
- ・低酸素脳症 1名
- ・ヘルペス脳症後遺症 1名
- ・大頭症 1名
- ・皮質形成異常症 1名
- ・脳幹部脳炎 1名
- ・ウェスト症候群 1名

#### (3) 収入実績

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
放課後等デイサービス	138,823	746,163	1,056,407	1,066,484	1,112,016	1,433,268	1,251,703	1,853,997	8,658,861
生活介護	269,901	277,862	298,699	313,594	326,766	365,216	373,666	413,439	2,639,143
稼働率	11.6%	26.1%	31.8%	36.6%	35.7%	46.5%	74.5%	72.8%	

\*2月1日より定員7名から5名に変更。

### 4. 放課後等デイサービスの実施状況

(当該年度 3月31日現在)

#### (1) サービス内容

小学1年生から高校3年生で重症心身障害児（療育手帳Aおよび身体障害者手帳（肢体不自由）1級もしくは2級の児童）で特別支援学校等の学校終業後（14：00～17：00）に利用する通所サービス。土曜・長期学校休業期間は1日利用（9：00～16：00）することができ、利用者の療育や家族の負担軽減を目的としている。

#### (2) 対象利用者

登録者数15名。主にはまぐみ小児療育センターや県立東新潟特別支援学校の児童が多く、学年別では小学3年1名・4年1名・5年1名・6年2名、中学1年2名・2年2名・3年2名、高校2年3名・3年1名。

#### (3) 入浴

特殊浴槽（ミスト浴）で身体の清潔保持と家庭での負担軽減を実施。

(4) 機能訓練

理学療法士もしくは言語聴覚士により、関節可動域訓練・マッサージ・下肢体幹筋トレ・移乗練習・嚥下機能訓練等を実施。

(5) 食事

利用者の嚥下状態に合わせた食形態で、外注の弁当を発注している（まごころ弁当）。経口摂取可能であれば声掛けしながら自力摂取や食事介助、他経管栄養を看護師が対応している。

(6) 会議内容

各利用者に関わる関係事業所との（2～3ヶ月に1回）担当者会議に出席。

(7) 虐待防止に向けた取組

法人委員会への出席や施設内研修において、虐待防止に関する知識や認識を高めている。

(8) 身体拘束

自傷行為や座位保持困難などがある場合にやむを得ずミトンや座位保持装置を使用することを許可いただいた上、個別支援計画書に記載する。

(9) 行事・活動

8月シャボン玉、9月魚釣り大会、10月ハロウィン、11月クリスマス壁面製作、12月クリスマス会、1月餅つき大会、2月豆まき大会、3月ひな祭り

(10) ヒヤリハット・事故件数

ヒヤリハット 15件（忘れ物・車いす固定忘れ等）  
事故件数 0件

## 5. 生活介護の実施状況

（当該年度 3月31日現在）

(1) サービス内容

18歳以上の重症心身障害者が日中利用できる通所サービスで、食事介助や入浴介助、機能訓練などのサービスを提供している。

(2) 対象利用者

登録者数3名。年齢別では20歳代2名、60歳代1名。

(3) 入浴

特殊浴槽（ミスト浴）で身体の清潔保持と家庭での負担軽減を実施。

(4) 機能訓練

理学療法士もしくは言語聴覚士により、関節可動域訓練・マッサージ・下肢体幹筋トレ・移乗練習・嚥下機能訓練等を実施。

(5) 食事

利用者の嚥下状態に合わせた食形態で、外注の弁当を発注している（まごころ弁当）。経口摂取可能であれば声掛けしながら自力摂取や食事介助を対応している。

(6) 会議内容

各利用者に関わる関係事業所との（2～3ヶ月に1回）担当者会議に出席。

(7) 虐待防止に向けた取組

法人委員会への出席や施設内研修において、虐待防止に関する知識や認識を高めている。

(8) 身体拘束

自傷行為や座位保持困難などがある場合にやむを得ずミトンや座位保持装置を使用することを許可

いただいた上、個別支援計画書に記載する。

(9) 行事活動

8月シャボン玉、9月魚釣り大会、10月ハロウィン、11月クリスマス壁面製作、12月クリスマス会、1月餅つき大会、2月豆まき大会、3月ひな祭り

(10) ヒヤリハット・事故件数

ヒヤリハット 5件（忘れ物等）

事故件数 0件

**6. 苦情解決体制の整備の状況**

(1) 苦情解決の仕組みと取り組み状況

(当該年度 年間実績)

利用者への 周知方法	窓口等への提示	会報等への掲載	契約締結時の説明	その他
	①	有 ・ 無	有 ・ ②	① ・ 無
受付けた苦情内容 及び解決結果 の公表方法	事業報告書への掲載		会報等への掲載	その他
	① ・ 無		① ・ 無	重要事項説明書及び契約書に記載・施設内掲示
	設置の有無		誰をあてているか（職・氏名）	
苦情受付担当者	① ・ 無		児童発達支援管理責任者 佐藤 菜美	
苦情解決責任者	① ・ 無		施設長 大野 米美	
第三者委員	① ・ 無		加瀬 宗一郎（評議員・(株) 悠久堂医科器械店代表取締役） 丸田 徹（評議員・元新潟県身体障害者団体連合会交流センター所長）	
苦情解決のための 要領、マニュアル 等の作成の有無	① ・ 無			

(2) 相談受付件数及び概要

①要望件数 6件

【内容】送迎、延長支援、トイレトレーニング等について

【対応】送迎スタッフ増員、延長支援加算届出

②苦情件数 0件

## 7. 職員の資質の向上等人材育成の状況

(1) 職員会議・委員会等の開催状況

(当該年度 年間実績)

会議名	開催回数		定例 開催日	記録の有無	参加職種
	定例	緊急			
全体会議	月 1	0	不定期	○有・無	全スタッフ
経営戦略会議		0	第三月曜		管理者・施設長・児発管

(2) 職員研修の状況

(当該年度 年間実績)

令和7年度 研修実績					
	主催	研修名	実施日	参加者	備考
研修 区分	施設 内 研修	虐待防止研修	8月	全職員	ジョブメドレーアカデミー
		感染症・食中毒研修	10月		ういる看護師
		感染症 BCP 研修・訓練	11月		厚労省動画
		自然災害 BCP 研修・訓練	12月		ジョブメドレーアカデミー
		身体拘束等適正化研修	2月		ジョブメドレーアカデミー
	外部 研修	虐待研修	12月	山田	新潟大学死因究明研修センター
		令和7年度在宅呼吸器に関する講習会（eラーニング）	1月～ 3月	大野	公益財団法人医療機器センター

## 8. 地域や家族との関わり

(1) 鳥屋野潟湖南まちづくり協議会—湖南地区のより良いまちづくりに協同参画するため会員加入。